

第 2 回 秦野市伊勢原市環境衛生組合火葬炉事業者選定作業部会要旨

- 1 日 時 平成 26 年 1 月 16 日(木)
午後 1 時 27 分から午後 5 時 5 分まで
- 2 場 所 秦野市伊勢原市環境衛生組合（以下「二市組合」という。）
はだのクリーンセンター小会議室
- 3 出席者
 - (1) 作業部会員 8 名
 - (2) 事務局
 - ア (株)綜企画設計 3 名
 - イ 二市組合施設課職員 1 名
- 4 内 容
 - (1) 配布資料の確認
 - (2) 議題
 - ア 公募要件の検討について
 - ・ 事務局から実績要件については、炉数だけでなく、火葬炉 2 炉に対し排ガス処理設備が 1 系列の炉を築炉した実績とするほか、火葬燃料は、コスト及び災害時の供給に便利な灯油とすることを説明した。
 - ・ 部会員から実績要件の 2 炉 1 系列の火葬炉については、対象業者が限定されることはないかとの質問に対し、事務局から大手メーカーだけに絞られることはないと説明した。
 - ・ 部会員から火葬燃料を灯油に限定した場合であっても各火葬炉事業者が対応できるかとの質問に対し、事務局から対応できることを説明した。
 - ・ 部会員から予備燃料は灯油以外も可能かとの質問があり、事務局から可能だが灯油をメインで使用する場合は、備蓄可能なことから灯油以外の燃料を使用する必要はないが、建物の設計時に検討すると説明した。

イ プロポーザル要領書の検討について

- ・ 事務局からプロポーザル要領書に示す事業概要、基本方針、失格事項、火葬炉設備における基本的事項などを説明した。
- ・ 部会員から性能確認に伴う費用負担が明確でないため、新たな項目を設け記載する必要があるとの意見があり、事務局から検討すると回答した。
- ・ 部会員から既存火葬炉を解体する工事は、火葬炉事業者が行うのかとの質問があり、事務局から一般的には建築工事に含めることが多く、また、有害物質のばく露対策を的確に行うため、本要領に含めず建築工事によるとした。
- ・ 部会員から提出を求める年間維持管理費の中に電気料金とあるが、積算できるのかとの質問に対し、事務局から各事業者の既存施設のデータを持っていることなどから可能と説明した。
- ・ 部会員から安全対策の項目は、運転者側の安全に対する内容であるが、利用者の安全についても対応するよう意見があり、事務局から検討するとの回答をした。

ウ 評価項目と評価内容等の検討について

- ・ 事務局から評価方法、採点方法評価項目について説明した。
- ・ 部会員から評価の内容が他の項目の評価内容と相似する場合、二重評価になりかねないので、事務局としてさらなる精査と整理をするようにとの意見があった。
- ・ 部会員から安全対策及びコスト縮減に関する提案事項は、業者の独自性などに着目して評価したいとの意見があった。
- ・ 部会員から採点方法について、委員の合議で採点するのか、委員が個々に採点するのかとの質問があり、事務局から、各項目別に各委員が個別に採点することを説明した。
- ・ 部会員から評価はA、B、Cの3段階としているが、点数の差が明確になるよう5段階にしたらどうかとの提案があったが、事務局から5段階では中間の評価が難しいため、3段階としたいと説明した。
- ・ 部会員から事業者の選定後、他の事業者の優れた技術提案内容を取り入れるなどの改善をさせることはできるのかとの質問に対し、事務局から今まで事例はなく、各事業者独自のもののため、困難であること

を説明した。

- 部会員から最優秀事業者に価格の低減について交渉できるのかとの質問に対し、事務局から契約時に価格交渉する事例があることを説明した。
- 部会員からイニシャルコスト、ランニングコストは提案された内容と実態が異なることがあるのかとの質問に対し、事務局から有り得ることなので、保証事項として要領書に明記することを説明した。

5 その他

事務局から今後の日程について次のとおり説明した。

- 第3回火葬炉事業者選定作業部会は2月4日火曜日、午後1時30分から開催する予定。
- 第2回火葬炉事業者選定委員会は2月17日から21日までの間の日に開催する予定で調整することを説明。